



# 自己紹介

昭和六十年十月以降本学へ赴任、または昇格された助教、講師の方に自己紹介をしていただきました。以下原文のまま掲載します。

## 法医学教授

柏村 征一



このたび、法医学講座を担当させていただきます。大変光栄に存じております。私の生れ故郷はサイパンとグアムの間にあり、父は小さい島です。両親とも日本人で生粋の日本人ですが、その気になれば北アメリカ連邦の市民権を取れるそうです。将来、日本に住みたくなくなったら移住しようかと考えています。

普段は説明が面倒なので、医師である父が引揚げて開業した福岡県相馬市の出身と書いておきます。NHK朝のテレビドラマはねこまの出身地です。仙台第一高等学校を経て東北大学医学部に入り、卒業後は第一外科に入局し、肝疾患及び門脈圧亢進症を専攻しました。卒後十年目に突然発狂して法医学に転向して山形大学医学部に移りました。それ以来、人間の社会の裏側ばかり見て参りました。誰も目に見えていない部分を覗き見る度に表社会を裏社会の

## 外科学第二助教授

神代龍之介



福岡市東区生まれ、久留米育ち。昭和四十二年九州大学医学部を卒業しました。卒業後最初の六ヶ月間九大一外科にて心臓外科を研修しました。その当時、今と変わらな

福岡市東区生まれ、久留米育ち。昭和四十二年九州大学医学部を卒業しました。卒業後最初の六ヶ月間九大一外科にて心臓外科を研修しました。その当時、今と変わらな

その後九大一外科に移り、三年間移植外科、血管外科、移植免疫を勉強させられました。この当時は、医師というだけで周囲に甘やかされ、また甘え、あまり勉強しませんでした。今福岡大に移って、比較的年をとった医師も、学生を含めて、何か得るの知れないものに甘えた人が多いため、私の十年程昔を思い出して、あかま

出身は福岡県伊万里市です。昭和五十二年九州大学を卒業しました。以後九大公衆衛生にて二年(途中ロンドン大学の疫学修士課程にて一年)、福大第一内科にて一年、産業医科大学臨床疫学にて二年を過ごしましたが、ふり返ると、ロンドン大学と福大の各一年が最も充実していたように思います。



出身は福岡県伊万里市です。昭和五十二年九州大学を卒業しました。以後九大公衆衛生にて二年(途中ロンドン大学の疫学修士課程にて一年)、福大第一内科にて一年、産業医科大学臨床疫学にて二年を過ごしましたが、ふり返ると、ロンドン大学と福大の各一年が最も充実していたように思います。

出身は福岡県八女市です。昭和五十二年九州大学を卒業しました。精神分析、精神療法を本格的に学べる大学病院精神科は現在でも日本では数少ないのですが、この領域では当時から「西日本のメッカ」と言われていた福岡大学の西園精神医学教室の門を叩きました。入局の相談に行きますと、教授からは「師を選ぶことが大事で五島列島の北にある小さな島で育ちました。佐世保北高出身で、昭和四十九年に九州大学を卒業しました。以後九大公衆衛生にて二年(途中ロンドン大学の疫学修士課程にて一年)、福大第一内科にて一年、産業医科大学臨床疫学にて二年を過ごしましたが、ふり返ると、ロンドン大学と福大の各一年が最も充実していたように思います。

出身は福岡県八女市です。昭和五十二年九州大学を卒業しました。精神分析、精神療法を本格的に学べる大学病院精神科は現在でも日本では数少ないのですが、この領域では当時から「西日本のメッカ」と言われていた福岡大学の西園精神医学教室の門を叩きました。入局の相談に行きますと、教授からは「師を選ぶことが大事で五島列島の北にある小さな島で育ちました。佐世保北高出身で、昭和四十九年に九州大学を卒業しました。以後九大公衆衛生にて二年(途中ロンドン大学の疫学修士課程にて一年)、福大第一内科にて一年、産業医科大学臨床疫学にて二年を過ごしましたが、ふり返ると、ロンドン大学と福大の各一年が最も充実していたように思います。

出身は福岡県伊万里市です。昭和五十二年九州大学を卒業しました。以後九大公衆衛生にて二年(途中ロンドン大学の疫学修士課程にて一年)、福大第一内科にて一年、産業医科大学臨床疫学にて二年を過ごしましたが、ふり返ると、ロンドン大学と福大の各一年が最も充実していたように思います。

出身は福岡県伊万里市です。昭和五十二年九州大学を卒業しました。以後九大公衆衛生にて二年(途中ロンドン大学の疫学修士課程にて一年)、福大第一内科にて一年、産業医科大学臨床疫学にて二年を過ごしましたが、ふり返ると、ロンドン大学と福大の各一年が最も充実していたように思います。

出身は福岡県伊万里市です。昭和五十二年九州大学を卒業しました。以後九大公衆衛生にて二年(途中ロンドン大学の疫学修士課程にて一年)、福大第一内科にて一年、産業医科大学臨床疫学にて二年を過ごしましたが、ふり返ると、ロンドン大学と福大の各一年が最も充実していたように思います。

出身は福岡県伊万里市です。昭和五十二年九州大学を卒業しました。以後九大公衆衛生にて二年(途中ロンドン大学の疫学修士課程にて一年)、福大第一内科にて一年、産業医科大学臨床疫学にて二年を過ごしましたが、ふり返ると、ロンドン大学と福大の各一年が最も充実していたように思います。

# 教室紹介

## 福岡大学解剖学第二

三好萬佐行教授率いる当教室の入りた授業内容で、学生に興味を持って、第一解剖学教室と協力して学

出身は福岡県伊万里市です。昭和五十二年九州大学を卒業しました。以後九大公衆衛生にて二年(途中ロンドン大学の疫学修士課程にて一年)、福大第一内科にて一年、産業医科大学臨床疫学にて二年を過ごしましたが、ふり返ると、ロンドン大学と福大の各一年が最も充実していたように思います。

出身は福岡県伊万里市です。昭和五十二年九州大学を卒業しました。以後九大公衆衛生にて二年(途中ロンドン大学の疫学修士課程にて一年)、福大第一内科にて一年、産業医科大学臨床疫学にて二年を過ごしましたが、ふり返ると、ロンドン大学と福大の各一年が最も充実していたように思います。

出身は福岡県伊万里市です。昭和五十二年九州大学を卒業しました。以後九大公衆衛生にて二年(途中ロンドン大学の疫学修士課程にて一年)、福大第一内科にて一年、産業医科大学臨床疫学にて二年を過ごしましたが、ふり返ると、ロンドン大学と福大の各一年が最も充実していたように思います。

出身は福岡県伊万里市です。昭和五十二年九州大学を卒業しました。以後九大公衆衛生にて二年(途中ロンドン大学の疫学修士課程にて一年)、福大第一内科にて一年、産業医科大学臨床疫学にて二年を過ごしましたが、ふり返ると、ロンドン大学と福大の各一年が最も充実していたように思います。

出身は福岡県伊万里市です。昭和五十二年九州大学を卒業しました。以後九大公衆衛生にて二年(途中ロンドン大学の疫学修士課程にて一年)、福大第一内科にて一年、産業医科大学臨床疫学にて二年を過ごしましたが、ふり返ると、ロンドン大学と福大の各一年が最も充実していたように思います。

出身は福岡県伊万里市です。昭和五十二年九州大学を卒業しました。以後九大公衆衛生にて二年(途中ロンドン大学の疫学修士課程にて一年)、福大第一内科にて一年、産業医科大学臨床疫学にて二年を過ごしましたが、ふり返ると、ロンドン大学と福大の各一年が最も充実していたように思います。

出身は福岡県伊万里市です。昭和五十二年九州大学を卒業しました。以後九大公衆衛生にて二年(途中ロンドン大学の疫学修士課程にて一年)、福大第一内科にて一年、産業医科大学臨床疫学にて二年を過ごしましたが、ふり返ると、ロンドン大学と福大の各一年が最も充実していたように思います。

## 福岡大学医学会例会の報告

- 第十四回例会  
日時 昭和61年2月6日(木)  
午後3時より  
場所 福岡大学医学部臨床大講堂
1. 一般講演
    - (1) 小児科学 助手 一木 貞徳
    - (2) 「ヒト樹立癌細胞株」の産出された癌胎児性抗原(CEA)及び関連抗原の免疫化学的研究 司会 黒木 政秀助教授
    - (3) 内科学第二 助手 朗 啓一郎
    - (4) 「高脂血症とHDL(高比重リポタン)代謝」 司会 荒川規矩男教授
    - (5) 皮膚科学 西村 正幸
    - (6) 「マンソン血吸虫症マウ」
  2. 特別講演
    - (1) 耳鼻咽喉科助教授 村山 寛
    - (2) 「胃腸の組織発生に関する検討」 司会 高岸 直人教授
    - (3) 「ドイツにおけるパラニ」 司会 曾田 豊二教授
    - (4) 生理学第一 教授 今水 一成
    - (5) 「スイスの医学教育と研究事情」ベルン大学を中心
    - (6) 司会 高岸 直人教授



論文名 "Effects of (Des- Pro <sup>2</sup> -bradykinin on phos- pholipase A <sub>2</sub> activity in cultured human umbili- cal vein endothelial cells and 3T3 fibroblasts."	藤岡節夫(用) 田中精二	福岡大学に提出。昭和六十一年十一月十四日付で医学博士授与。	論文名 "Isolation and characterization of feeding behaviour mutants in <i>Drosophila melanogaster</i> ."	藤城直二	九州大学に提出。昭和六十一年三月十二日付で理学博士授与。
論文名 "A comparison with the serum Enzyme."	田中 孝一	福岡大学に提出。昭和六十一年三月二十五日付で医学博士授与。	論文名 "Antigenic heterogeneity of carcinoembryonic antigen (CEA) in the circulation defined by monoclonal antibodies against the carbohydrate moiety of CEA and closely related antigens."	森 礼史	福岡大学に提出。昭和六十一年三月二十五日付で医学博士授与。
論文名 "The pathological substratum for electrocardiographic findings in muscular dystrophy."	浦田 秀則	福岡大学に提出。昭和六十一年三月二十五日付で医学博士授与。	論文名 "Observation of fluorescein angiography of rabbit ciliary body by a new method of stereotaxic intraocular endoscope system."	坂口 二夫	福岡大学に提出。昭和六十一年三月二十五日付で医学博士授与。
論文名 "Antihypertensive and volume depleting effects of mild exercise: Reconfirmation by well matched controlled study."	北島 幸治	福岡大学に提出。昭和六十一年三月二十五日付で医学博士授与。	論文名 "Evaluation and correlation of clinical and histological features of focal segmental glomerulosclerosis (FSGS) (単球糸球体硬化症の臨床病理学的研究)"	千原 純一	福岡大学に提出。昭和六十一年三月二十五日付で医学博士授与。
論文名 "Effects of Pro <sup>2</sup> -bradykinin on phospholipase A <sub>2</sub> activity in cultured human umbilical vein endothelial cells and 3T3 fibroblasts."	藤岡節夫(用) 田中精二	福岡大学に提出。昭和六十一年十一月十四日付で医学博士授与。	論文名 "Three dimensional arrangement of fibrocytes in the dermal papilla of the human sole skin." (皮下足皮膚の真皮乳頭における線維細胞の三次元配置)	宮瀬 崇弘	福岡大学に提出。昭和六十一年三月二十五日付で医学博士授与。
論文名 "Effects of (Des- Pro <sup>2</sup> -bradykinin on phos- pholipase A <sub>2</sub> activity in cultured human umbili- cal vein endothelial cells and 3T3 fibroblasts."	藤岡節夫(用) 田中精二	福岡大学に提出。昭和六十一年十一月十四日付で医学博士授与。	論文名 "Glomerulonephritis in diabetic patients and its effect on the prognosis." (糖尿病患者における糸球体腎炎の予後と予兆)	藤城直二	九州大学に提出。昭和六十一年三月十二日付で理学博士授与。
論文名 "Effects of (Des- Pro <sup>2</sup> -bradykinin on phos- pholipase A <sub>2</sub> activity in cultured human umbili- cal vein endothelial cells and 3T3 fibroblasts."	藤岡節夫(用) 田中精二	福岡大学に提出。昭和六十一年十一月十四日付で医学博士授与。	論文名 "Evaluation and correlation of clinical and histological features of focal segmental glomerulosclerosis (FSGS) (単球糸球体硬化症の臨床病理学的研究)"	千原 純一	福岡大学に提出。昭和六十一年三月二十五日付で医学博士授与。
論文名 "Effects of (Des- Pro <sup>2</sup> -bradykinin on phos- pholipase A <sub>2</sub> activity in cultured human umbili- cal vein endothelial cells and 3T3 fibroblasts."	藤岡節夫(用) 田中精二	福岡大学に提出。昭和六十一年十一月十四日付で医学博士授与。	論文名 "Evaluation and correlation of clinical and histological features of focal segmental glomerulosclerosis (FSGS) (単球糸球体硬化症の臨床病理学的研究)"	千原 純一	福岡大学に提出。昭和六十一年三月二十五日付で医学博士授与。

受賞

西園 昌久(精神医学) アメリカ精神医学会 Corresponding Fellowship (特別賞)

山田 英智(解剖学第1) 昭和60年度方研究助成金

村山 寛(病理学第1) 昭和60年度方研究助成金

学術交流

丸田 治生(内科第1) ①Axiology and Pharmacology, the University of Illinois College of Medicine ②血圧調節因子の生化学的解明 ③4.4.1~29.3.15 大島 一寛(泌尿器科) ①アメリカ・ミネソタ大学②小児泌尿器科 ③61.4.1~29.3.31 田川 隆輔(解剖学第1) ①中華民国・台湾大学医学院②各種脊椎動物の脳血管の自律神経に関する研究 ③60.12.5~61.3.4 波多江純真(生理学第1) ①アメリカ・シエンティ大学②心筋細胞膜の電気生理学的研究 ③61.3.3~62.3.2

海外出張

奥村 尚(内科第1) ①カンパル②アジア太平洋肝臓学会 ③61.1(6日間)

奥村 尚(内科第1) ①中国②肝臓医学交流学術討論会 ③61.4(7日間)

来訪

荒川規矩男(内科第1) ①ACE-Report 編集会議 ②61.2.14~61.2.18 西園 昌久(精神医学) ①韓国 WHO ローン・マン参加のため ③61.11.5~61.11.9 西園 昌久(精神医学) ①台湾 中華民国精神医学会 ②61.6.9~61.11.13 小田 禎一(小児科) ①モナコ公国 ②第11回世界炎症性腸炎(World Conference on Inflammation) 出席 ③61.3.13~61.3.26 金岡 毅(産科婦人科) ①アメリカ・イギリス・オランダ ②産婦人科医学教育の国際的視察 ③産科技術の修得 ④胎児呼吸生理学的研究 ⑤61.4.19~61.7.20 大島 健司(眼科) ①アメリカ眼科学会の特別講演及び硝子体手術講習会を行なった ②61.1.29~61.2.7 大島 健司(眼科) ①アメリカ(Vail) ②硝子体手術のシンポジウム参加及び講演 ③61.3.7~61.3.16 大島 健司(眼科) ①韓国 Korean Retina Club ②特別講演 ③61.3.8~61.3.30 吉川 達雄(薬理学) ①アメリカ Searle's Science Advisory Board Meeting ②出席 ③61.2.1~61.2.23 重松 峻夫(公衆衛生学) ①アメリカ Hartford, Connecticut ②一九八五年 IAOCR 年次総会出席 ③ University of South Carolina 訪問 ④61.12.1~61.12.23

Associate Professor of Psychiatry, Cornell Medical College ③ "Stages of primitive defense and transference." ③61.11.19.4~7	Dr. John Sweeney ① Assistant Professor of Psychology in Psychiatry, Cornell Medical College ② 講演 "Clinical application to psychological testing for borderline personality." ③61.12.5	Dr. Lyle Tucker ① Assistant Professor of Clinical Psychology in Psychiatry, Cornell Medical College ② 討論に参加 ③61.12.5	Dr. Masao Miyamoto ① Assistant Professor of Psychiatry, New York Medical College ② 講演 "Narcissistic disorder vs borderline disorder: From an object relation aspect" ③61.12.5	Dr. Jose Enrique Lopez Rodas ① Psychiatrist at the National Institute of Mental Health "Honorio Delgado hideyo Noguchi" ② 見学及び研修 ③61.1.15~1.25	Dr. Norman Sartorius ① Director, Division of Mental Health, WHO/Geneva ② 講演 "WHO Epidemiological study in the field of mental health." "WHO Fundamental program of mental health." ③61.3.23	Dr. Naotaka Shinfuku ① Regional Adviser in Mental Health and Drug Dependence WHO/Mania ② 講演 "WHO mental health activities in the western pacific region." ③61.3.23	Dr. Alfred M. Freedman ① Professor and Chairman of Psychiatry & Behavioral Sciences, New York Medical College ② 講演 "Postgraduate training system of psychiatry in U.S.A." "Ethics of deinstitutionalization in the U.S.A." ③61.4.7	Bengt Robertson, M.D. ① スウェーデン・カロリンスカ研究所(小児病理学教授) ② 講演及び共同研究(サーファクタント補充療法の最近の進歩) ③61.11.5~11.9	Frederick Wendler ① ノーベン大学医学部②内視鏡の臨床検査 ③61.11.18~11.30	Soo Duk Lim (林 壽徳) ① 地方公社仁川病院院長 ② 第56回日本皮膚科学会福岡地方会特別講演のため "Natural killer cell" ③61.3.15~3.19	Howard D. Homesley, M.D. ① Bowman Gray School of Medicine, 産婦人科教授 ② 講演 "Treatment of advanced and recurrent carcinoma of the cervix." ③61.11.23	Prof. Dr. Med. Chlodwig Beck ① 西ドイツ・フランクフルク大学耳鼻咽喉科教授 ② 第33回日本基礎耳科学会招待講演 ③61.12.12	Prof. Dr. Med. Robert Kimura ① Massachusetts Eye and Ear Infirmary, Department of Otolaryngology ② 第33回日本基礎耳科学会招待講演 ③61.12.12	Prof. Richard L. Wood ① Department of Anatomy & Cell Biology, University of Southern California ② 医学学生物学(ための) ③ 走査電顕(電子顕微鏡) (岡山) のため来日 ④ 講演 "Regionalization of epithelial cell membranes." ③61.11.3~11.4	于 維漢 ① 中国・ハルビン医科大学 ② 著名学者 ③ 講演 "兎山病(心筋梗塞) ④61.1.16	Wayne R. Giles ① カナダ・カルガリー大学教授 ② 講演 "心筋細胞におけるK電流" ③61.4.6
--	---	--	---	--	---	--	--	--	--	---	---	---	---	---	--	---

新刊紹介

大島健司(眼科) ① 図説眼科手術書(下巻) ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿